

寺 音 観  
校 高 第 一

# 同窓会報



平成23年度

立 校 会  
香 川 県  
観 音 寺 第 一 高 等 学 校  
同 窓



## ごあいさつ

同窓会長

三宅 昭二

(観一28年卒)

会員の皆様こんにちは。日頃は観一高同窓会に深いご理解とご支援をいただき熱く御礼を申し上げます。役員改選により、又今後二年間、同窓会のお世話をさせて頂く事となりました。わが同窓会と母校の発展の為に微力を尽くしてゆきたいと存じています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

東日本の巨大震災は、我が国はもとより全世界を震撼させました。同窓の中にも直接間接に被害を受けられた方々は少なくないと考えられます。心よりお見舞い申し上げます。本部同窓会におきましては、協議の上、義援金五十万円を日本赤十字社宛にお送りしたところであります。報告申し上げます。さて、昨年度は、通常の同窓会活動に加えて、創立百周年記念の諸事業があり、会員の皆様方には多方面でのご支援ご協力をはじめ、募金面でも多大のご負担をおかけしました。お陰さまで各紙面で報告通り、計画した事業すべてが無事完成致しました。歴史と伝統ある観一高の百周年と云う節目を、同窓会の連帯の絆の中で確認して讃え合うことが出来ました。関係各位に心よりお礼申し上げます。

同窓会の基礎組織となる支部と年次につきましては、役員皆様方のご尽力によって、年と共に充実してくる感があります。まず「支部」は、東京、京阪神、岡山、松山の県外支部をはじめ県内の十三支部と県庁・県警の職域組織も浜田知事誕生により、さらに活発となりました。共通の課題は、若手会員の参加促進です。「年次」については、観一高では現在三十五回卒業生までが組織され、「年次

幹事」を選出しております。現在よりさらに五年次くらいまで下がって組織化が進み、支部と年次が縦糸、横糸として、うまく絡み合っ同窓会がさらに発展することを念じています。

今年五月二十九日の総会は、大雨のため四百五十名登録中四百十名出席となりましたが、それでも会場満杯の熱気に包まれ、肩書はずした和気藹々の同窓会ならではの語らいが続きました。四十四年卒と五十七年卒の当番年次の大勢の皆様方には大変ご苦勞をおかけしました。

総会挨拶の中でも申し上げましたが、会員の皆様からは年間一千万の自主的な会費を納入して頂いておりますが、今期は四、九〇二口となつていて、数年前までの実績五、七〇〇口以上の回復を早急にと期待するところです。

また総会では幻の校歌と云われた「学園の歌」を合唱することが出来ました。昭和二十五年に作られたこの歌は、昭和三十年に「観一高校歌」が生まれるまでの五年間は校歌の位置づけで歌われたもので、当日は作詞者の柳川(旧姓藤田)氏と共に観一高三回・四回卒等が中心となつて、大勢で合唱。

大雨の為、予定していた観一コーラス部も吹奏楽部の伴奏も果たせず残念でしたが、かつての時代をしのんで感慨深いものがありました。

高校の統廃が論議される中、観一高では校舎の全面改築の方針が決定したと聞きます。

わが母校も時代と共に幾多の変遷と歴史を刻んでゆきます。母校と共に同窓会組織があります。この観一高同窓会を支えるものは、会員の主体的な力だと思えます。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

そして会員の皆様には健康にご留意の上、心豊かな日々をお過ごし下さいませよう祈念いたします。



## ご挨拶

校長

島田 政輝

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃、本校の教育活動に多大なご理解とご支援を頂いておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は学校創立百周年という記念すべき節目の年を迎えることができました。これも偏に同窓会の皆様のおかげであると深く感謝申し上げます。また、記念にマイクロボスと三女講堂のミニチュア模型をご寄贈いただき大変感謝いたしております。学校とし

ましては、百周年という節目の年を、将来の本校の在るべき姿を考え、その実現に向け歩み始めるスタートの年であると考え、教職員一同、全力で取り組んでまいり所存です。

では、本校の現状を簡単にご説明申し上げます。まず、本年三月末の進学実績につきましては、国立大学は京都大学、大阪大学等百四名(浪人を含む)となつており、残念ながら数の上では昨年、一昨年にして今一步の結果となりましたが、今後とも生徒一人一人の能力の伸長と進路の実現に向け、学校あげて努力してまいりたいと考えております。

次に部活動の活動状況につきましては、運動部では、今年の県高校総体において、陸上部では男子棒高跳び、砲丸投げ、女子四百mリレー等で、アーチery部では男子団体、弓道部では女子個人の部でそれぞれインターハイに出場しました。一方、野球部は夏の県

# 『温故知新』コーナーの紹介

観一資料館の資料を常設展として展示することを目的として設置された、百周年記念館内の『温故知新』コーナーをもう御覧になりましたか。このコーナーを見ていただくことで、学校の歴史に思いをはせたり、先輩について知りたりすることで生徒が良い影響を受け、観一生としての誇りを持ち、高い志を持って一層勉学や部活動に励むことを願い、同窓生の皆様には、本校について振り返ることができ、母校への思いを新たにしたいだけることを期待しております。展示内容は、本校の沿革史や先輩方の書画や著書などの特別展示です。尚、特別展示は不定期ですが、ローテーションしております。今回は、その中の一部を紹介させていただきます。

大会で、圧倒的な打力と優れた投手力で準決勝進出を果たしました。惜しくも、決勝進出はなりませんでしたが、着実に力をつけており今後の活躍が楽しみです。学芸部も活発に活動が行われており、邦楽部及び美術、書道、放送の各々が福島県で開催された全国高校総合文化祭に出場しました。

ところで、今年は本校にとって大きな出来事が二つあります。一つは、スーパードライエンス・ハイスクール（SSH）の研究指定を受けたことです。これは、国が科学技術立国日本の将来を背負う理数系人材の育成を目的として進めている事業で、高い志と優れた調査研究力を身に付けた未来の先端的科学技術人間の育成に向け、班別に行う課題研究や東京、京阪神の大学、研究所等での研修、アメリカへの海外研修旅行等を行う

予定です。

もう一つは、校舎の全面改築が行われることです。現在の校舎は昭和三十六年から四十年にかけて建設されたもので、今年で築後約五十年を迎えます。本年度から基本設計、実施設計を行った後、平成二十五年年度に着工の予定です。同窓生の皆さんにとっては、思い出の詰まった現校舎であり、それがなくなることに一抹の寂しさも感じられることですが、新しい時代における本校の教育に相応しい魅力ある校舎にご期待いただければ幸いに存じます。

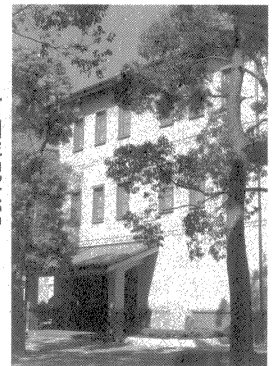
終わりにあたり、会員の皆様方におかれましては、今後、益々のご活躍を祈念いたしますとともに、今後とも引き続き本校の教育活動に応援、ご支援賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。



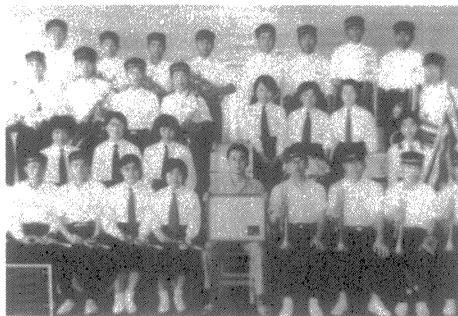
特別展示



沿革史コーナー



百周年記念館



ブラスバンド部NHK全国大会第三位

一九六三年 プラスバンドNHK全国大会第三位  
毎年開催されているサマーコンサートで、すばらしい伝統を受け継ぐ現在のブラスバンド部の演奏をお楽しみ下さい。



温故知新

百周年記念館を入るとすぐ右手にあるこのコーナーの看板となるこの文字は、我観一の先輩である元内閣総理大臣 大平正芳氏によって書かれたものです。



三女講堂模型

大正四年（一九一五年）に完成したこの講堂は、当時ハイカラな建物として観音寺のシンボルでもありました。設計図すらなかった

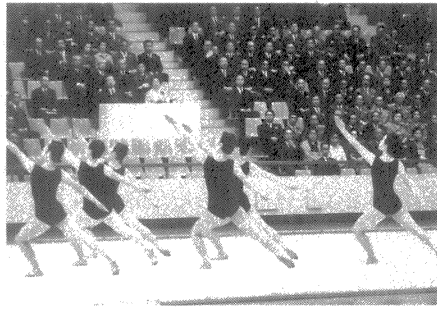


在りし日の体育館

本校出身の芦原すなお氏原作の映画「青春デンデケデケデケ」や、俳優坂口憲二氏主演の「機関車先生」で撮影に使われました。現在は老朽化のため平成二十一年一月にとり壊されました。

この講堂模型は、三女卒業生の方々をはじめ、多くの方々のお力で復元することができました。見事な出来映えのこの講堂模型を是非ご覧下さい。

当時の女子体操部員は一年間の内で一日も練習をしない日はなく、修学旅行も行かずに練習していたそうです。この写真の方々の中には観一の体育教師として活躍された方がいらっしゃるかも…。



1966年 女子体操団体選手模範演技

最後に、現在、特別展示されており、故大平正芳氏がが外相時代の昭和四十七年に本校を訪ねられた際の講演で、生徒に向けて語られた言葉を紹介します。

「諸君は、今日一日一日一生懸命に体を鍛え、精神を鍛え、頭脳を磨くことをやります、寝る時には俺は今日一日一杯の事をやり遂げた、という豊かな満足感を持って床についていただきたい。」

(当時の記録より抜粋)

## 平成二十二年度 事業報告

### 1 会議の開催

#### ○理事会

平成二十二年五月二十三日

平成二十二年十月三日

平成二十三年一月二十二日

平成二十三年三月二十七日

#### ○幹事会

平成二十二年四月二十五日

#### ○総会

平成二十二年五月三十日

観音寺グランドホテル

### 2 在校生に対する育英事業

奨学金九三六、〇〇〇円

学校・生徒への援助事業

### 3 年会費の徴収 四、九〇二口

### 4 同窓会報の発行

平成二十二年十一月三十日発行

二六、二八四部発送

### 5 会員名簿の発行

平成二十二年九月発行

三、三五四部発行

### 6 平成二十二年卒業生住所調査

創立百十周年記念関連行事

マイクロバス贈呈式

### 7 平成二十二年六月三十日(水)

創立百十周年記念誌発行

平成二十二年十月

### 8 平成二十二年十月二十四日(日)

創立百十周年記念式典

観音寺グランドホテル

### 9 その他

支部総会 豊浜(四月十日)岡山(四月二十

十四日)仁尾(七月二十四日)詫間(七月

二十五日)観音寺(九月二十五日)高松

(十月二日)高瀬(十月三十一日)京阪神

(十一月六日)東京(十一月二十日)松山

(十一月二十七日)三野(十二月八日)